



▲縁の下の力持ち、ボランティアとして協力してくれた2020はむらサポーター“スペシャルサポートメンバー”活動の一幕。【東京2020大会を応援しよう！1年前イベント in 羽村】



▲令和3年7月、新型コロナ感染対策のため公道での聖火リレーの代わりに、立川市内で点火セレモニーが行われました。【橋本市長から聖火を受け取る羽村市ゆかりのオリンピック・菅原武男さん】

▶令和元年9月、義足をつけて歩いてみました。【東京2020大会を応援しよう！1年前イベント in 羽村】



▼令和2年2月、聖火リレーのリハーサルが市内で行われました。【東京2020オリンピック聖火リレーリハーサル】



▲令和2年12月、障害の有無や年齢に関係なく一緒に楽しめるスポーツ、ボッチャの大会を行いました。【第2回ボッチャはむら大会】



写真で振り返る

東京2020オリンピック・パラリンピック

～羽村市での主な取り組み～

9月5日、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が閉幕しました。

これまで、さまざまな準備や事業を通じて市民の皆さんのご協力をいただけてきました。市で行った主な関連イベントなどを写真で振り返ってみましょう。

問合せ 東京オリンピック・パラリンピック準備室③345



▲平成30年8月、車いすラグビーに挑戦しました。「車いすを操るだけでもとても難しかった」と参加者の皆さん。【東京2020パラリンピックを応援しよう！2年前イベント in 羽村】



▲平成29年3月、オリンピック・パラリンピックのフラッグが羽村市駅伝大会の会場にやってきました。駅伝大会に参加した市内中学生24人と記念写真！【東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー】

▶平成29年10月、市民体育祭にパラリンピアン・辻沙絵さんが来てくれました。さすがのスピードに皆圧倒されました。【第70回羽村市市民体育祭】



▼令和元年8月、キルギスの歌やメロディ、展示などを通じ、キルギスの文化に触れることができました。【羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート】



▲令和元年6月、羽村市舞踊連盟の指導で、五輪音頭を楽しく踊りました。【東京五輪音頭-2020-踊り方講習会】



▲平成30年11月、事前キャンプに訪れたキルギス共和国男子柔道ナショナルチームが、羽村市柔道会の子どもたちと練習しました。【スポーツセンターでの練習風景】

オリ・パラ通信 57 最終号 東京2020大会閉幕

平成29年4月から連載してきたオリ・パラ通信は、今回が最終号です。
世界中を勇気づけた大会
たくさんの方に応援をいただき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が閉幕しました。開催が1年延期になったことで、選手のコンディションの維持・調整の難しさが報じられたり、新型コロナウイルス感染症の影響で開催の是非を問う声もありましたが、選手たちの圧巻のパフォーマンスなどにより、世界中が勇気づけられる大会となりました。
市では、東京2020大会の気運を高めるため、夏まつりなどのイベント時に、競技紹介パネルや競技用具を展示したり、ボッチャやブラインドサッカーの競技体験会を行ってきました。また、大会の1年前などの節目には、オリンピックやパラリンピアンによるトークショーなども行い、たくさんの方に参加していただきました。特にボッチャの体験会は毎回好評で、障害の有無にかかわらず、幅広い年代の方が一緒に楽しむことができました。

また、平成30年のキルギス共和国男子柔道ナショナルチーム事前キャンプ受入れをきっかけに、市はキルギス共和国のホストタウンとして登録されました。皆さんにキルギス共和国に親しみを持ってもらえるよう、遊牧民の移動式住居ユルタの組立て・解体ワークショップやキルギスの料理教室を行ったり、応援メッセージをチームに届けたりしました。
特に、オリンピックに出場するキルギス選手を応援するために市民の皆さんがキルギス国歌を斉唱した動画は、キルギス国内でも多くの方に大変喜ばれました。

皆さんにはこれまでたくさんのお手伝いイベントなどにご協力をいただき、本当にありがとうございました。
東京2020大会をきっかけにした多くの出会いを大切にしながら、互いに認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会の実現に向けて、これからも皆で取り組んでいきましょう。
問合せ 東京オリンピック・パラリンピック準備室③345